

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産(商品)／インデックス型	
信託期間	信託期間は2017年11月28日から無期限です。	
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	SMT ゴールドインデックス・オープン(為替ヘッジなし)	下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)	別に定める金現物に投資する上場投資信託証券(以下「投資対象上場投資信託証券」といいます。)を主要投資対象とします。 別に定める「投資対象上場投資信託証券」とは、次のものをいいます。 iShares Gold Trust SPDR Gold Shares
組入制限	SMT ゴールドインデックス・オープン(為替ヘッジなし)	株式(新株引受権証券及び新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)	株式(新株引受権証券及び新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年2回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。	

SMT ゴールドインデックス・オープン (為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版)

第1期(決算日 2018年5月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。さて、当ファンドはこのたび上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申しあげます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

お問い合わせ先

フリーダイヤル:0120-668001

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

PCサイト <http://www.smtam.jp/>

スマートフォンサイト <http://s.smtam.jp/>

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号

「SMT ゴールドインデックス・オープン(為替ヘッジなし)」の主要投資対象である「ゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)」は第1期決算日(2018年7月10日)を迎えていないため、記載すべき運用報告書はございません。

【本運用報告書の記載について】

- ・ 基準価額および税込分配金は1万口当たりで表記しています。
- ・ 原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・ 一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・ 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。
- ・ 指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金	期中騰落率	期騰落率	中騰落率		
設定日(2017年11月28日)	円 10,000	円 -	% -	10,000	% -	% -	百万円 1
第1期(2018年5月10日)	9,662	0	△3.4	10,019	0.2	99.0	10

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(設定日) 2017年11月28日	円 10,000	% -	10,000	% -	% -
11月末	9,976	△0.2	9,976	△0.2	96.0
12月末	10,123	1.2	10,117	1.2	96.0
2018年1月末	9,892	△1.1	10,147	1.5	94.6
2月末	9,569	△4.3	9,872	△1.3	98.3
3月末	9,480	△5.2	9,754	△2.5	101.7
4月末	9,657	△3.4	10,015	0.2	99.0
(当期末) 2018年5月10日	9,662	△3.4	10,019	0.2	99.0

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

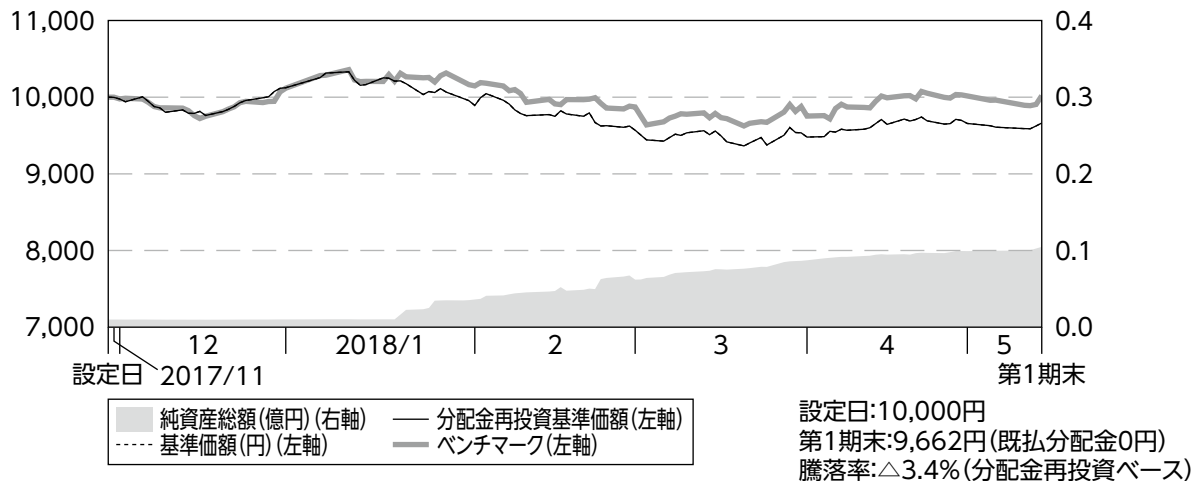
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

ベンチマークは、LBMA金価格(円換算ベース)です。

LBMA金価格とは、正式名称はLBMA Gold Price PMといい、ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッド(ICE Benchmark Administration Limited)によってロンドン時間の午後に公表される金現物価格(米ドル建て)を指します。なお、LBMAは、ロンドン貴金属市場協会(London Bullion Market Association)の略称です。「円換算ベース」は、米ドルベース指数をもとに当社が独自に円換算した指数です。ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッド(ICE Benchmark Administration Limited)は、LBMA金価格及びLBMA金価格が示す、あらゆる特定の日、特定の時点における数値により生じた結果について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドは、当ファンドに関する商品性や特定目的への適合性について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。設定日を10,000として指数化したものを掲載しています。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移

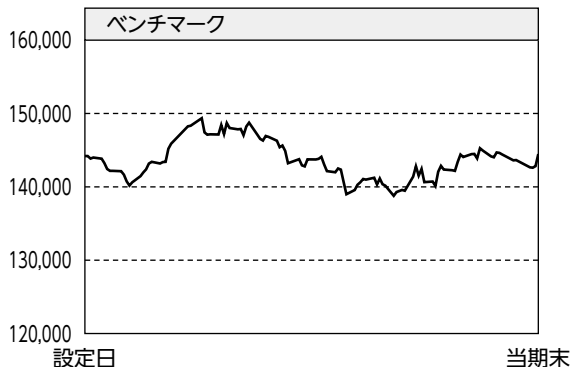


- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額及びベンチマークは、2017年11月28日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

ベンチマークであるLBMA金価格(円換算ベース)の動きやファンド運営コストの影響を反映して、基準価額は下落しました。

投資環境



税制改革法案が米連邦議会上院で可決されたことを受けて、税制改革実現への期待が強まり、リスク選好の動きが強まったことから、金価格は2017年12月中旬にかけて下落しました。その後は、中国政府が米国債購入の減額や停止を検討していると報じられたことなどを受けて米ドル安が進行したことや、米国の長期金利が上昇したことを受け世界的に株式市場が下落するなどリスク回避的な動きが強まったことから安全資産である金への投資需要が高まり、金価格は上昇しました。

外国為替市場では、米財務長官が米ドル安を歓迎する発言を行ったことを受け、円高・米ドル安が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

「ゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)」受益証券を高位に組み入れ運用を行いました。

【「ゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)」の運用経過】

金現物に投資するETF(上場投資信託証券)の組入比率を期を通じて高位に維持し、ベンチマークであるLBMA金価格(円換算ベース)と連動する投資成果を目標として運用を行いました。

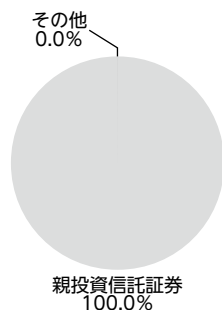
当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド

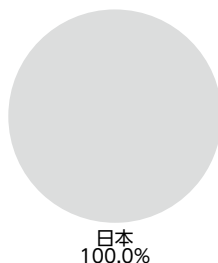
	当期末
	2018年5月10日
ゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)	100.0%
その他	0.0%
組入ファンド数	1

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

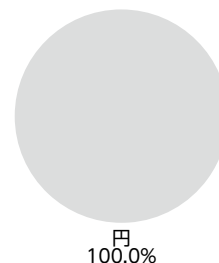
○資産別配分



○国別配分



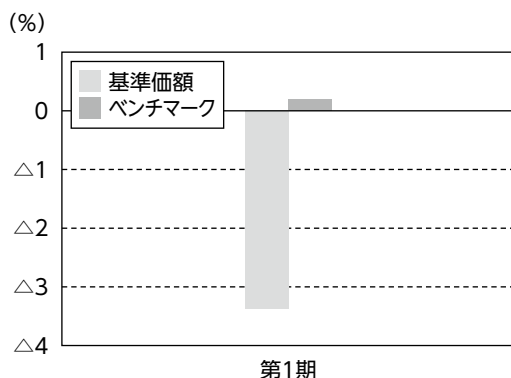
○通貨別配分



(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

当ファンドのベンチマークとの差異

以下のグラフは、当ファンドの基準価額(分配金込み)とベンチマークの騰落率の対比です。



当期の基準価額騰落率は、ベンチマーク騰落率を下回りました。

差異の主な要因は、ETF評価差要因^{*}、信託報酬要因およびコスト要因(いずれもマイナス要因)です。

^{*}LBMA金価格はロンドン時間に決定されるのに対し、ETFは米国で取引されることで発生する時間差による価格変動の影響です。

分配金

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第1期	
	2017年11月28日~2018年5月10日	
当期分配金 (円)		—
(対基準価額比率) (%)		(—)
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		0.01

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示します。

今後の運用方針

ゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として別に定める金現物に投資する上場投資信託証券(以下「投資対象上場投資信託証券」といいます。)に投資し、別に定める金現物市場を代表する指標(円換算ベース)(以下「ベンチマーク」といいます。)に連動する投資成果を目指します。

別に定める「投資対象上場投資信託証券」とは、次のものをいいます。

iShares Gold Trust

SPDR Gold Shares

別に定める「ベンチマーク」とは、次のものをいいます。

LBMA金価格(円換算ベース)

ただし、マザーファンド受益証券が主要投資対象とする投資対象上場投資信託証券が参照するベンチマークが変更された場合、上記のベンチマークも変更となる場合があります。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2017年11月28日~2018年5月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	12円	0.121%	(a) 信託報酬＝[期中の平均基準価額]×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,782円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(5)	(0.049)	
(販売会社)	(6)	(0.058)	
(受託会社)	(1)	(0.015)	
(b) 売買委託手数料	10	0.107	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(10)	(0.107)	
(商品)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	246	2.519	(d) その他費用＝ $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(保管費用)	(246)	(2.518)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(-)	(-)	
合計	268	2.747	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

売買および取引の状況

<親投資信託受益証券の設定、解約状況>

	当 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)	千口 11,849	千円 11,587	千口 1,021	千円 992

利害関係人[※]との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.043028	百万円 0.043028	% 100.0	百万円 0.043028	百万円 0.043028	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	1	0.256524	25.7	1	0.253214	25.3

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

<ゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)>

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.297711	百万円 0.297711	% 100.0	百万円 0.297711	百万円 0.297711	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	15	3	20.0	15	3	20.0

<平均保有割合 100.0%>

(注1)平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

(注2)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況

当期首残高 (元)	当期設定 元	当期解約 元	当期末残高 (元)	取引の理由
千円 -	千円 1,000	千円 -	千円 1,000	当初設定時における取得

組入資産の明細

<親投資信託残高>

	当 期 末	
	口 数	評 価 額
ゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)	千口 10,828	千円 10,474

(注) 親投資信託の当期末現在の受益権総口数は、10,828千口です。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)	千円 10,474	% 99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	12	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	10,486	100.0

(注1) ゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)において、当期末における外貨建純資産(10,403千円)の投資信託財産総額(11,021千円)に対する比率は94.4%です。

(注2) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1米ドル=109.96円

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2018年5月10日現在
(A) 資 産	10,486,840円
コール・ローン等	12,659
ゴールドマザーファンド (為替ヘッジなし)(評価額)	10,474,181
(B) 負 債	7,439
未 払 解 約 金	1,190
未 払 信 託 報 酬	6,167
そ の 他 未 払 費 用	82
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	10,479,401
元 本	10,846,395
次 期 繰 越 損 益 金	△366,994
(D) 受 益 権 総 口 数	10,846,395口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,662円

■損益の状況

項 目	当 期 自 2017年11月28日 至 2018年 5月10日
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△85,292円
売 買 益	32,409
売 買 損	△117,701
(B) 信 託 報 酬 等	△6,249
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△91,541
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金 (売 買 損 益 相 当 額)	△275,453 (△275,453)
(E) 計 (C+D)	△366,994
(F) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(E+F)	△366,994
追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 当 額)	△275,453 (12)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△275,465)
繰 越 損 益 金	△91,541

- (注1) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (D) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は11,376,146円、期中一部解約元本額は1,529,751円です。

※分配金の計算過程

項 目	当 期
(A) 配当等収益額(費用控除後)	－円
(B) 有価証券売買等損益額(費用控除後・繰越欠損金補填後)	－円
(C) 収益調整金額	12円
(D) 分配準備積立金額	－円
(E) 分配対象収益額(A+B+C+D)	12円
(F) 期末残存口数	10,846,395口
(G) 収益分配対象額(1万口当たり)(E/F×10,000)	0.01円
(H) 分配金額(1万口当たり)	－円
(I) 収益分配金金額(F×H/10,000)	－円

お知らせ

該当事項はありません。